

2022年度 環境保全活動実施報告
【北海道地区】

(1)実施日	2022年 7月 2日(土)
(2)実施場所	ウトナイ湖（北海道苫小牧市）
(3)参加者	18名（会員会社9社）＋（事務局）1名＝計19名
(4)協力	（公財）日本野鳥の会ウトナイ湖サンクチュアリ
(5)活動内容	・オリエンテーションの実施。 （外来種とは。何故駆除が必要か等を説明） ・オオアワダチソウの抜取り作業の実施(4,610本) ・ウトナイ湖畔周辺の自然観察を実施。 【オオアワダチソウについて】 北米原産の多年草で明治時代以降に移入されたものが北日本に多く分布している。ウトナイ湖では1990年代より定着し始め、現在、圧倒的な繁殖力で、在来植物を圧倒して大群落を作っている。在来種、野生植物の生育環境の保護のため外来種の駆除が必要。  （オオアワダチソウ）
(6)スケジュール	08:30 札幌駅北口から貸切バスで出発 10:00～ 10:20 オリエンテーション ・オオアワダチソウの性質・分布状況など 10:20～ 11:00 オオアワダチソウ駆除活動 ・抜取り作業、本数確認、片付け、記念写真 11:00～ 11:50 野外生物ガイドウォーク（ウトナイ湖周辺） ・レンジャーの案内にて周辺自然観察 12:00 ウトナイ湖から支笏湖へ向けて出発 13:00～15:00 しこつ湖鶴雅リゾートスパ水の譚（昼食・入浴休憩） 15:00 支笏湖から札幌駅へ向けて出発 16:30 札幌駅北口到着解散
(7)参加者の感想	・連日暑い日が続いていたが、当日は天候に恵まれ、環境保全活動に参加できてよかった。 ・自然にふれながら子供と一緒に参加できた事がよかった。 ・移動時間が長いので、近場で実施できたら、参加者も増えると思います。
(8)その他情報	コロナにより、約2年間実施ができなかったため、外来種（オオアワダチソウ）が増えてしまっていた。 また、同様な環境保全活動を実施する団体が減少している。



（オオアワダチソウ駆除前）



（オオアワダチソウ駆除後）



（4,610本駆除）